



2019年11月1日

親愛なるシスター方、アソシエート、コンソシエート、オハナ・サンホセファミリアの皆様

10月4日から8日にかけて全管区/準管区のリーダーシップチームは、修道会リーダーシップグループ (CLG) の半年ごとの会議のために修道会リーダーシップチーム (CLT) と共にオールバニーに集まりました。少数の新メンバーがこのCLG会合に加わりました。セントルイスのフルタイムリーダーとしてマーガレットショルツ、エミーヘレフォード、フランマーは、4か月後に初めて参加しました。さらに現在のCLTの招きで新たに選出された修道会リーダーシップサリーハーパー（ビデオ会議を通してペルーから）、パティージェンソン、メリーマクグローン、ショーンピータース、テレズシャーロックも出席しました。FMSAのメリージョルダンは、私たちのためにファシリテーターとして会合を促進しました。

信頼と心を開くという精神は、共に過ごす私達の間に行き渡りました。これは総会で経験した霊の実りとその延長であると、何人かの参加者は述べました。相互の交わりは心の分かち合いや謙虚さと自己発見を求めた二つの右脳プロセスや、そして多くの祈りの機会と観想的会話によって育まれました。

私たちは最終の呼びかけ、『心の深みへ、より深みへ行こう。遠くへ、より遠くへ旅しよう。大胆に応答しよう。』に焦点を当て、未来の方向声明を開きました。これらのチャレンジは、総会体によって確認された全ての方向付けとコミットメントに影響すると思います。象徴的な意思表示と数少ない語彙に信頼し、簡単な言葉だけれども力強い声明を相互に拓けました。

私達は、本会の各ユニットが統治に関する総会の決定を好ましい方向への識別を討議するのにかなり時間を費やしました。各リーダーシップチームは共通の識別プロセスのために、彼らの考えや質問や初期計画を話し合いました。この重要な識別は「プロセスであってパッケージではない」と。プロセスが進化するにつれて情報が全員に提供され、他者の経験から学ぶことができるようにユニット間のコミュニケーションを維持する方法を確立する必要性については、全員一致しました。この議論はそのプロセスに役立つ財政情報の話題を提起しました。財政が特定の方向に識別されないよう認める一方、真の識別は特定の種類の資料が誤った情報や誤解によって引き起こされる不安からシスターズを自由にすると必要があると認識しました。私達はCLGによって特定された財政問題に対処するために、特別グループの設立、最初のステップを踏み始めました。

最後に、いくつかの具体的なトピックが上がりました。

- 修道会養成計画の現状に関する最新情報と本会を巡礼している二人の女性と共修練長の訪問の機会がオールバニーで偶然同時に起こりました。
- カリスマの別の生き方を模索している人々、“アグレゲ識別グループ”の更新と教育、これは彼らの経験についてのコミュニケーションのための経路を確立するための勧告に繋がりました。
- 大勢のシスターズと ACOF が参加している南米国境のボランティア使徒職の更新。ペルーのリーダー達はベネズエラに入国する難民の現実と奉仕の機会も話しました。
- 2020-21 年予算の準備に関する幾つかの討議について、2020 年の 3 月の CLG 会合で CLT が提案します。

いつものことですが、私達が共に過ごす時のハイライトは地元のススターとアソシエートの方々との出会いでした。オールバニー管区ハウスでのシスターズとスタッフのおもてなしに感謝を表わします。そして、祈りで支えてくださった全ての方々にも心から感謝いたします。

あなた方のシスターズ、
修道会リーダーシップ グループ